
適齡期独身OLの独り言 -雨-

東 英一郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

適齢期独身OLの独り言 - 雨 -

【Nコード】

N5166E

【作者名】

東 英一郎

【あらすじ】

雨が降っていたので、電車に乗りながら書いてみました。嫌そうに傘を持っていたOL風の人を見て思いついた、超ショートです。

私、雨がキライなんです。

だって、傘持たなきゃならないじゃないですか。

荷物増えるのイヤなんですよねえ。

オマケに電車なんかに乗ったら大変。周りの人の傘で濡れちゃうし、自分の傘でも濡れちゃうし。だいたい傘の置き場がないんですよ、電車って。晴れてる時は歩いてても、雨が降るから電車を使うのに、傘の置き場がないって変ですよええ。電車って雨のこと全然考えないんだよねえ。文句言つてやろうかしら。ホント、傘っていらないし、買つてまで持つ意味が分からないわ。そう思うの、私だけなのかなあ？

だから私は傘を買っていません。

あつ、百均の折りたたみ傘だけなら一本あつたかも。今つて駅に傘があるじゃないですか。『ご自由にお使い下さい』って。忘れ物を再利用してるんだと思う。私はそれを使っているわね。また返さなきゃなんないんだけど、みーんな傘持つてるから、意外といつでも使えるのよ。エコっぽいし、タダだし、ビニール傘よりよっぽどいい傘よ。

一回だけ見栄張つて高い傘買ったの。そしたら、ソッコーなくしちゃつて。もう二度と買わないわ。

自転車もそうよね。

みんな持つから放置自転車があるのよねえ。

もつたいないじゃない。

朝駅に置いたら夜帰ってくるまで置きっぱなしなんて。

その間ちよつと使いたい人だつていっぱいいるのよ。

自転車もひとりひとり持たないで、『ご自由にお使い下さい』つてしたらいいのに。『私の自転車』を持たなければ、自転車泥棒だ

つてなくなるし、お巡りさんだつてもつと他のことができるんじゃないのかなあ。でも、最終で帰ってきて自転車がなかったら悲惨な人もいるのかもね。そこはちゃんとお役人さんが考えればいいことよ。そのために税金払ってんだしね。

私、こんなんだから、男も所有したくないし、所有もされたくないの。だつて疲れそうじゃない？最初はいいのかもしないけど、振られたとか別れたとか、修羅場になったとか、人の話聞くだけでユーツになっちゃう。気がのつた時だけ誰かいればいいのよ。ん？そんなにいるのかつて？いないわよ。そんな都合のいい男なんか、そうそういないわよね。

こんなことしてるからヨメいけヨメいけつて父親がウルサイのよね。男はいないのか？とか、なんか誰かお嬢さんを下さいとかつて言いくる奇特なヤツはいないのか？とか。

ホントウザい。

だいたい奇特つて何よ。

私がるで変人みたいじゃない。

つて言つたら、だつてそうじゃないか、だつて。

失礼なのよ。

ホント。それにね、誰かいたらこんな土曜の夜にお父さまと一緒にビールなんか飲んでませんつて。ヒック。酔っぱらつてなんかないからね。拳げ句、三十過ぎても家にいるんだつたら宿泊代とるからな、だつて。一泊二食付で一万円だつて。冗談じゃあないわよ。こんなボロ家にあんな狭い部屋で一万円だなんて。ラブホにでも泊まった方がよっぽどマシね。なあんで、こんなこと言つたらお父さんに怒鳴られるかもね。そんなふしだらな娘に育てた覚えはないつ、とかつて。

でもね、私見ちゃつたんだ。お父さんが会社帰りに知らない人と入

つていくとこ。ふしだらなのはどっちよネエ、まったく。そんなふしだらなお父さんに育てられた覚えはないっ、て言い返してやろうかしら。

ま、お母さんには内緒にしてあげてるケド。お父さんだって男だし、今更お母さんとなんてあり得ないしね。だいたい今になって弟ができたよとか、妹ができたよなんて言われたらキモいし。まるで私の子供じゃないの、それじゃ。ま、お父さんのこと大目にみてるってワケ。それにいざという時のオドシに使えるしね。

でも、やるわよねえ、お父さんも。女の人の傘で相合い傘だもんねえ。どういう関係なのかしら。なんか、ママって感じだったのよねえ。ま、遊びみたいなもんよね。

でもね、ホントは私、相合い傘って好きなんだ。

だって、男とくつつけるいい口実じゃないの。ちっちゃい傘に二人で入ったら、もう何でもOKって感じよね。そのために傘持たないってのもあるんだけど。そういう時に限って降らないのよねえ、雨って。あゝあ、降らないかしらねえ、ドラマティックな雨。は？雨キラいだって言ってたじゃないかって？男付きの雨だったらいいのヨ。

じゃあ、もう寝るわね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5166e/>

適齢期独身OLの独り言 -雨-

2010年10月30日09時39分発行